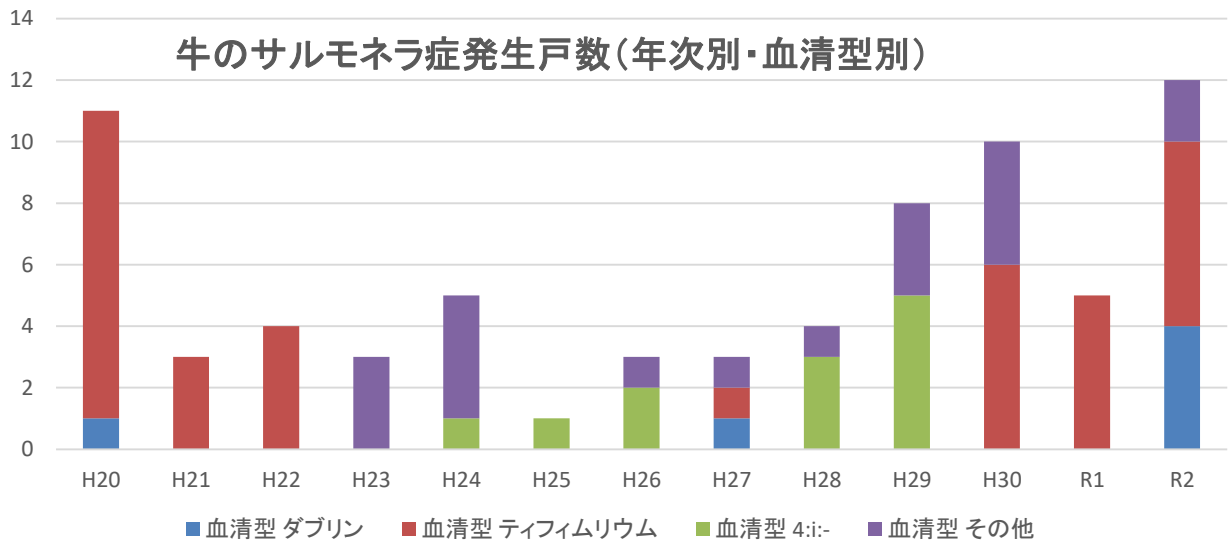


12戸で発生！

牛のサルモネラ症が多発！

6月中旬から、すでに管内12戸で牛のサルモネラ症が発生しています。うち6戸は、サルモネラ・ティフィムリウム（成牛の発熱・下痢）、4戸はダブリン（哺乳牛の発熱・呼吸器症状・軟便）によるものでした。今後も侵入防止に努めて下さい。



発生した場合の対策

H30年4月～ 4:i:-は、ティフィムリウムに整理された

- ・自衛防疫組織（自防）で対策を検討（対策方法は家保がバックアップします）

採材、治療、牛舎消毒、衛生管理指導、牛群の臨床検査を実施。

牛舎の徹底的な清掃・消毒（石灰乳塗布等）は早期対策終了に有効です。

- ・検査プログラム例

同居牛と牛舎等の環境の一斉検査を実施し陽性牛は治療します。

検査はおおよそ2週間間隔で繰り返し実施し、2回続けて全て陰性となった場合、農場の衛生対策推進状況を考慮して、自防が対策終了を検討します。

北海道網走家畜保健衛生所

電話：(0157)36-0725 FAX：(0157)36-5801